

広島県内で外国人労働者の死亡災害が多発しています！



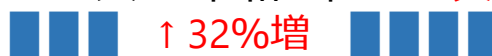
令和8年8月以降外国人労働者の死亡災害が続発！！

令和8年発生 外国人労働者の死亡災害事例

発生月	業種	年齢	経験年数	事故の型	災害発生状況
8月	製造業	20代	6か月	崩壊・倒壊	被災者（特定技能外国人）は、船体に取り付ける飲料用タンクの研磨作業を行っていたところ、当該タンクが倒れ、その下敷きとなった。
9月	製造業	20代	6か月	はさまれ・巻き込まれ	被災者（技能実習生）は、一人で塗料製造作業を行っていたところ、直径1.5m、深さ1.5mのミキサー内において首を挟まれた。
9月	製造業	20代	3か月	はさまれ・巻き込まれ	被災者（技能実習生）は、コンベヤー付近において一人で、堆積した砂などをシャベルで除去していたところ、ベルトコンベヤーのローラーに巻き込まれた。
9月	建設業	20代	7か月	墜落・転落	被災者（技能実習生）は、工場新築工事現場において鉄骨の組立作業中に墜落し、地上へ墜落した際に鉄筋が胴体に刺さり死亡した。

外国人労働者の休業災害も大幅に増加

休業4日以上之死傷災害 令和7年 106人 → 令和8年 **140人**（9月末現在）



➤ 外国人労働者の労働災害の発生率が高い要因としては、複数のリスクが重なり合っていると考えられます。

- ① 業務経験が比較的短い → 未熟練によるリスク
- ② 日本語そのものの理解が不十分
- ③ コミュニケーション不足により、職場の「危険」の伝達・理解も不足

外国人労働者に
特有のリスク



➤ それぞれのリスクに応じた対策の促進が必要

- ✓ 未熟練によるリスク
- ✓ 外国人労働者に特有のリスク

外国人労働者が内容を確実に理解できる
方法による雇入れ時教育等の実施の徹底

外国人労働者への教育の徹底に加え、「墜落・転落」「はさまれ・巻き込まれ」
対策など基本的な安全対策の徹底が極めて重要です！

外国人労働者が内容を確実に理解できる方法による 雇入れ時教育等を実施しましょう！

雇入れ時教育等の実施に当たっては、

- ✓ 外国人労働者が、内容を確実に理解できる方法で行う（**母国語や視聴覚教材の使用**）
- ✓ 使用させる機械等、原材料等の危険有害性や取扱方法を**確実に理解**させる
- ✓ 標識、掲示及び表示等に**図解を用いる**、**母国語で注意喚起語を表示する** 等が必要

→各種ツール（厚生労働省ウェブサイトで公開）が活用できます！

マンガ・動画教材

業種共通と業種・作業別 安全衛生の基本事項に関する視聴覚教材（マンガ・動画教材）



例）転倒防止の注意：14言語対応
（画像は、日本語・英語）

未熟練労働者に対する安全衛生教育マニュアル

業種別（製造業、陸上貨物運送事業、商業など）の未熟練労働者向け教材等（事業者向けマニュアルと、労働者向けテキスト（複数言語））



例）安全な服装のマニュアル：14言語対応
（画像は、日本語・スペイン語）

外国人労働者に係る安全表示



① 厚労省HPに掲載 ② 事業者が自由に作成 ③ 事業者が掲示

外国人労働者の安全衛生対策に役立つツール等をご活用ください

外国人労働者の安全衛生管理（手引き、視聴覚教材等）



職場のあんぜんサイト（各種教材等）



人材確保等支援助成金（外国人労働者就労環境整備助成コース）



中小規模事業場安全衛生サポート事業（無料、中災防が実施）

